

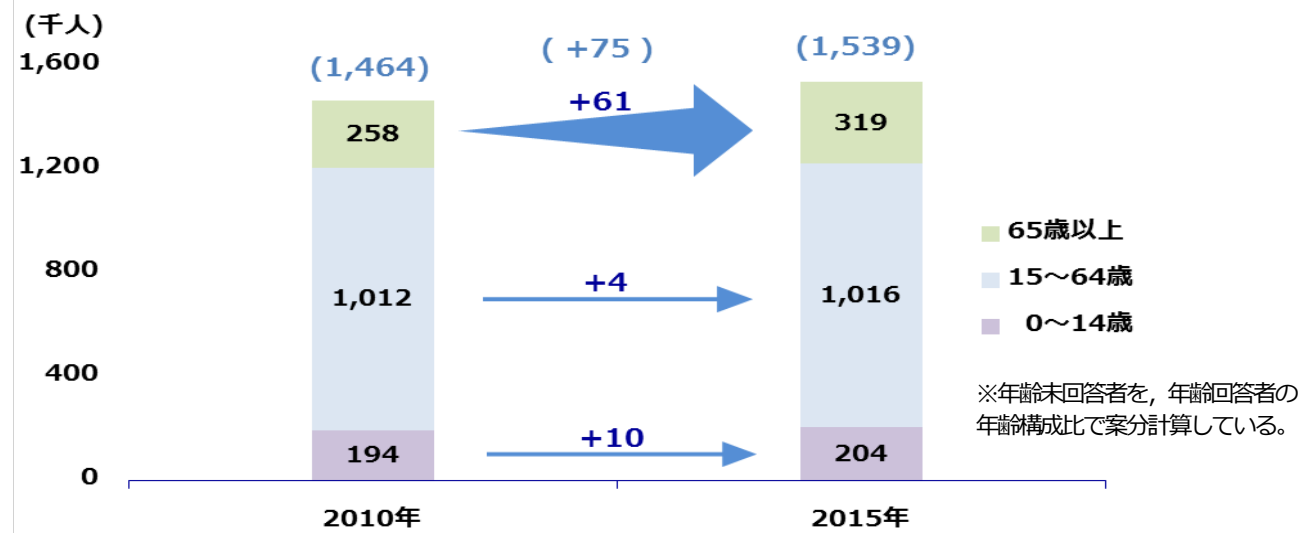
福岡市健康先進都市戦略（概要）

1. 策定の背景 —なぜ今、戦略を必要とするのか？—

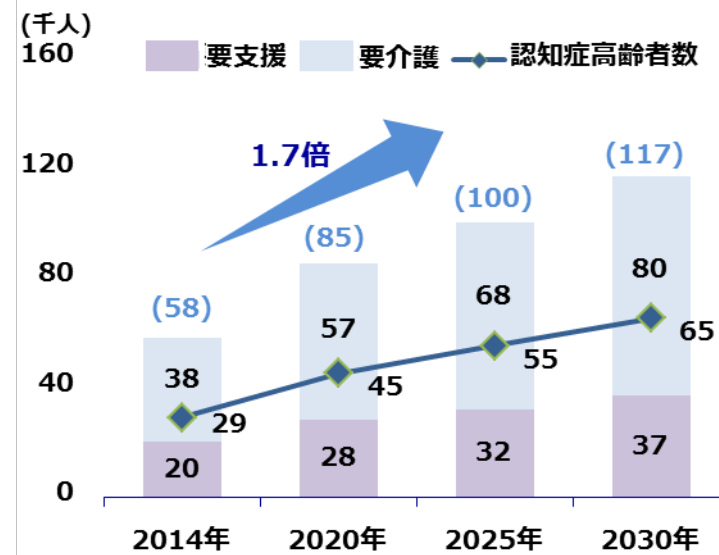
- 高齢者が急速に増加する一方、子どもや働く人の割合が減少する人口構造の変化に直面
- 日々の生活や、医療・介護の姿が大きく変容し、保健医療福祉ニーズが増大・多様化
- 社会保障制度の枠組みに基づく行政施策の再構築だけでは、ニーズへの対応に限界

保健福祉総合計画の理念をスピード感を持って具現化するため、行政施策の再構築だけでなく、行政施策の範疇を超えた領域で新たなサービスや仕組みの創出を促進する必要がある

【図表1】国勢調査（年齢階層別推移）

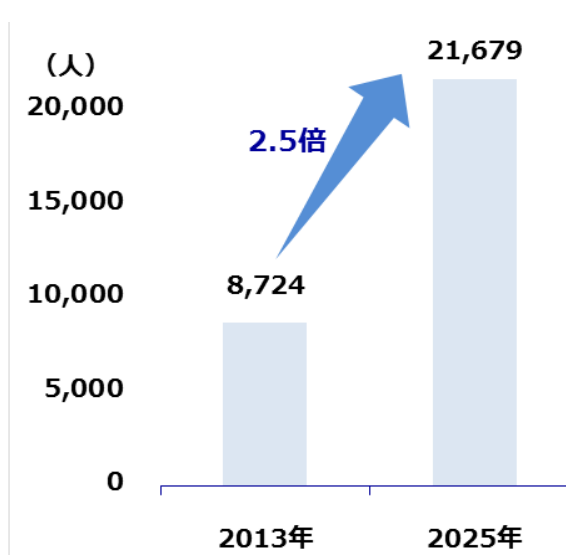


【図表2】要介護高齢者と認知症高齢者の将来推計



出典：「高齢者の保健と福祉に関する総合ビジョン（平成26年）」

【図表3】在宅医療を必要とする患者数

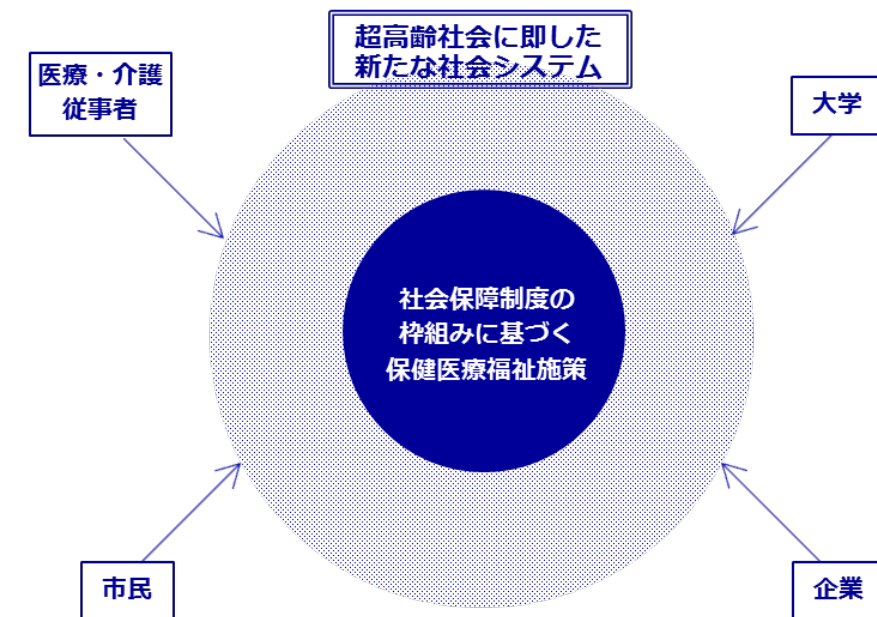


出典：平成28年度地域医療連携調整会議資料

2. 策定の観点 —何をめざすのか？—

- これまでの社会保障体制を規定してきた価値規範や思想を大きく転換
- 市民や企業、大学など幅広いプレイヤーの参画を得て、その発想や手法を導入
- これから起こる問題を「自分ごと化」して、解決に向けて動き出すきっかけづくり

市民一人ひとりが心身ともに健康で“自分らしく”生きていける
新たな社会システム～「長寿を心から喜べるまち」～



3. 戦略のアクション —どう取り組むのか？—

(1) 3つの視点

- 視点①：「経験」から「根拠（エビデンス）」へ
科学的根拠に基づき、必要なサービスを無駄なく提供できる仕組みへの転換
- 視点②：一律の「ルール」から「多様性」の尊重へ
個人が抱える複合的な課題や制度の隙間のニーズに対応できる仕組みへの転換
- 視点③：「分立」から「統合」へ
制度の垣根を超えた、サービス・担い手・情報が統合される仕組みへの転換

(2) 7つの柱

① 155万人がケアに参加するまち

～科学的・体系的介護の実践と普及～

<主な取組方針>

- 専門職員や家族介護者、市民における認知症ケア技法共有の推進
- 家族介護と仕事の両立支援

【29年度】

認知症コミュニケーション・ケア技法「ユマニチュード」実証事業 [拡充]

② 制度やサービスの垣根を超えるまち

～ケアする人/される人の情報が統合されたインフラ整備～

<主な取組方針>

- 健康・医療・介護分野の情報通信基盤整備
 - ・一体的な在宅支援サービスに向けた情報共有の仕組みづくり
 - ・公的保険外の生活支援サービスの一元的情報提供
- 本人や家族を含めた終活支援

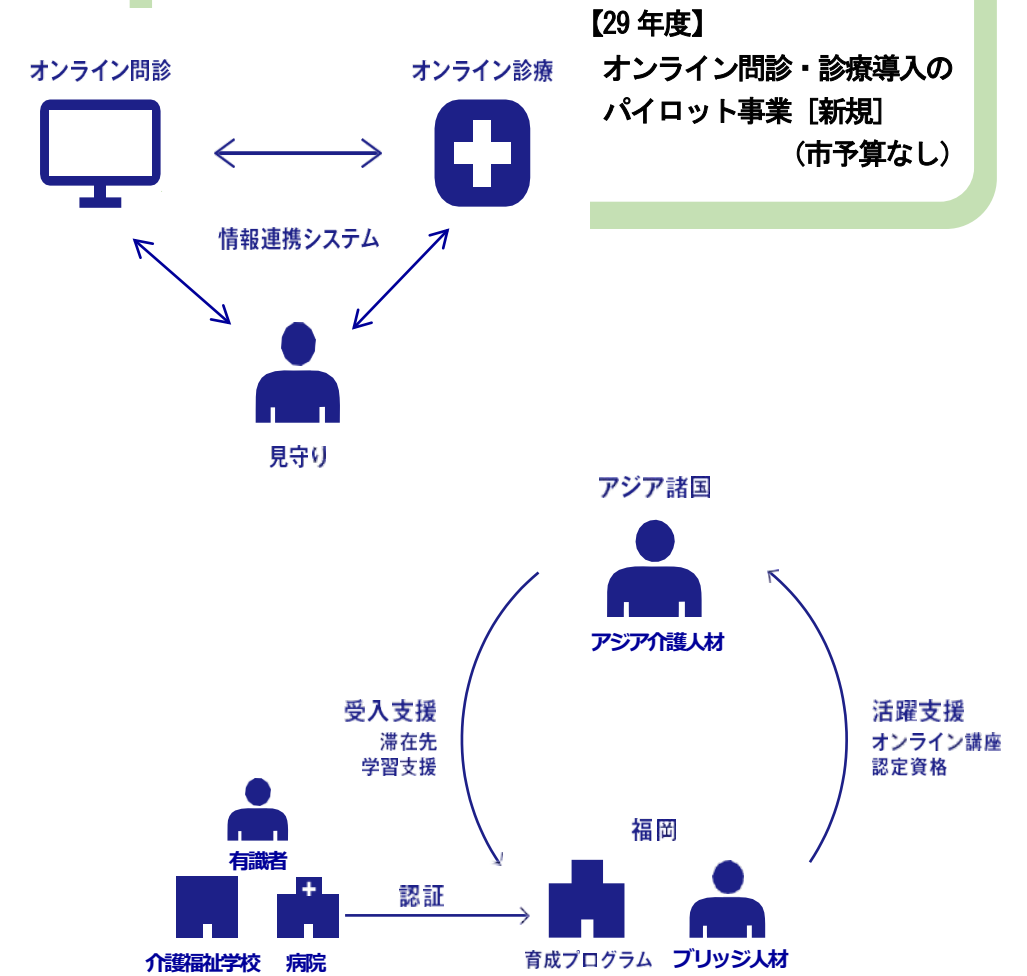
【29年度】 ・地域包括ケア情報プラットフォーム構築事業 [拡充]
・やすらかパック事業 [新規]

③ デジタル時代の医療サービスが実現されるまち

～ICTを活用した「かかりつけ医」機能の強化～

<主な取組方針>

- オンライン問診・オンライン診療の導入
- 情報連携システムを活用した患者を見守る体制づくり



④ 誰もが楽しみながら健康になれるまち

～健康を支える新たなサービスを生み出す仕組みづくり～

<主な取組方針>

- 産学官民による共働・共創の仕組み(ヘルス・ラボ)づくりと健康寿命延伸に寄与するサービスの創出促進
- 健康リスクの見える化による、市民の行動変容促進

【29年度】 ・福岡ヘルス・ラボ構築事業 [新規]
・みらいの健診リスク診断事業 [新規]

⑤ 多世代がつながり合い活躍するまち

～コミュニティでの多世代交流・共働ネットワークづくり～

<主な取組方針>

- 地域住民が知識や経験等を持ち寄り、地域課題の解決を図る仕組みづくり
- 子育てを終えた人やシニアの新たなライフスタイルの実現に向けた支援

【29年度】 ・アクティブシニアの創業・就業支援
・「R60倶楽部」の展開

⑥ ケア・テック・ベンチャーの拠点となるまち

～健康・医療・介護とテクノロジーの融合・イノベーション促進～

<主な取組方針>

- 人をケアする領域で、IoT*やAI*などを活用した新たなサービスモデルの創出促進
 - ・事業アイデアの磨き上げ支援
 - ・ビジネス化の促進支援

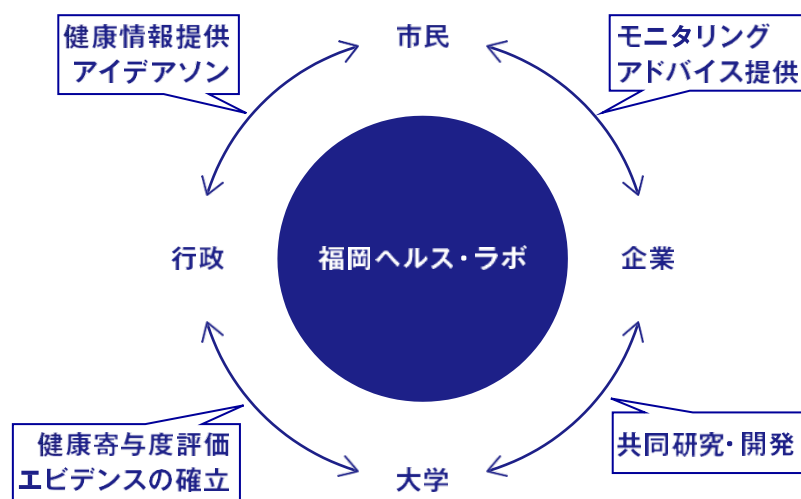
【29年度】 ・福岡ヘルス・ラボ構築事業 [新規]
・実証実験フルサポート事業(経観文) [拡充]

⑦ ケアの国際化を進めるまち

～外国人ケア人材養成と交流をサポートする枠組み整備～

<主な取組方針>

- 介護福祉士養成学校や、病院、学識経験者などによる、カリキュラムの基準設定やプログラムの認証スキーム整備
- 帰国後も学び続けられる仕組みづくりと外国人材のネットワーク化



*IoT: 身の回りのあらゆるものがインターネットにつながる仕組み
*AI: 人工知能